

令和8年3月吉日
豊洲めぐみこども園

とつきょうすくわくプログラム活動報告書(乳児)

テーマ:音

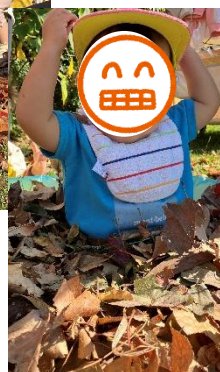
どのクラスも楽器や歌、手遊びなどに興味を持って集中して取り組む姿が見られていました。そこで、日常の活動と音を組み合わせながら色々なところにある音を聞き、どんな音に興味を持つのか一緒に発見し、子どもたちの音の世界を広げられたらと考え、テーマに設定しました。

活動内容

1. 指導者を招いて、音楽リズムやおとあそびの活動を行いました。その中で、色々な楽器を使ったり、わらべうたやリズム遊び等たくさんの音に触れる体験をしました。



2. 秋に、季節ならではの音に触れるため、散歩に行きながら鳥の声や風の音、落ち葉を踏んだり触ったりしながら自然にある音に耳を傾けました。



3. 発表会で小物楽器を使った演奏を行いました。楽器を演奏するにあたって、マリンバやティンパニ等大きな楽器にも触れる機会を作りました。



4. 日々の活動の中で音楽に合わせて踊ったり、歌や手遊びの絵本を読んだりしました。普段のサーキットの身体を動かす活動にミュージックパッドを追加して遊びの中でも音に触れていきました。



振り返り

どのクラスも音楽が大好きで活動を楽しむ様子が見られました。音楽リズムやおとあそびの活動では目を凝らし、耳を傾けて興味深く取り組むことができました。その活動で使った楽器や歌を日々の保育でも取り入れ、発展させながら発表会の練習にも意欲的に参加していました。また、手遊びや歌の絵本の時間は「もう一回」と繰り返し楽しむ様子が見られました。

自然の音に触れる活動では、保育者の問いかけに、音について考え興味を持ち、2歳児は子どもたち同士の対話を楽しみ、0,1歳児はそこから言葉を覚えることにつながりました。

音をテーマにしたことで、日々の生活の中にも色々な音が溢れていることを知り、子どもたちの遊びの幅が広がり、集中力や活動のメリハリがついていったと感じました。